議案の内定を見たので午前十一時

價認可方針

十三年度以降についても

各道に對して通達

| 宋皇電話|| 政府は十日の既時期 | 支根本方動を決定すべき十日の館 |

けふの臨時閣議

第手統主行び大いで母支重要回報。十分存革航空隊特別〇〇機に長駆

に関し十一時三十分まで各版の唯 【上海九日同盟 九日午後一時三

現に関する一切の準備を完了 【東京記述】政権は十日の けふ委曲奏上

四国議案を中心に重ねて伽重極計

國民政府虚勢を張る

より和議を求むるが如き如何なる

(市馬農和鉄路)まつ新設厚生省

仁開育, 近旬首相以下各閣假出席

南昌空襲

和平云々のデマ放送斷乎一蹴

権を根

緊急臨時閣議て方針决定

を帰調、十二日天徴に赴いて解散

意を披掘した の長距離飛行ローマ南米間

上海工部局問題

紙を認識するものと見られるが工 | 本人三名を説明さにした、 | 名は謎で少くとも二回解説を開催。 | 本人三名を説明された。

償

賣買并募集引受

大阪市東區北久太郎町貳丁目

大株一般取引員

①

黑川福三郎

20. 21. 22. 727. 827. 2173, 3243, 4379. 4285,

37. 38. 39. 受債略 號ラサカ カブ クリカワ

栤

心

祉

式

問をあげてるたが、五日へ

社 長

(宮武は松岡さん)

Ħ

販

大阪市北湾学島北町大阪市北湾学島北町 株式 白 財神戸市神戸湾北長狭道四丁目神戸湾北長狭道四丁目

星 進 聲 型

市西區北州江河六丁目

店

商用リニ

店

商店

穗積殖産局長東上

鹽原學務局長東上

◆木野本所裁山議事務官 材上河が官を幣同連金開起打合せのため十二日 『あかつき』で東上今天橋本三郎氏(金場合長)内市 「十二年本」時 三十五分 あかつきゅで隠城

天地支黄

有價證券現物賣買・募集引受

近衛内閣の根本政策九項目

高城市高

大阪市西區阿波座中通丁目

英國が六十位間といふ空前の

何時もながら支軽はうまいものつて攻勢へ、と関民政府の宣師

局及び娘大賞局では駁年前から破

ところで、その食器に銃殺

るその必要性を認め目出たく験は ての地値を進めてるたが、中央で

と狂客した城大では数室の施設及

夕刊六頁朝刊八頁 こいやらだが、やはり女の後智

營業案內御一報次第御送時申上長

節に問題し國民政府代辞者は七日 意思表示をもなせる程文は毛頭な 職で競表された風見容配官長の該

一人更に臨時閣議 政権県穏の根本方派に関し政行の主式態度を決定すること、なった。」も時を同じもして南郡の上空に現りとの権以した結果、十日同時間高において九日の間隣における抗日(へた、また三木、千月前佐護忠繁)

各参議に内容説明

はれ酸の各項要球點に反復場撃を

更に諸小殿かエチオピア合併水圏 下スイス政府が聯盟也上論を示唆 将の中立宣音にはいて聯盟のお睦

後の臨時開議で決定した對友根本方統の内容を説明したる後者参議 な水の政府側近衛首相、杉山池州、木内御相、魔田外相田席」 との間に職職なる意見の安操金法は国土時散発した 致行し所期の効果を収めて陥退し と前大使婦英 「ロスト

こに完全に重見の一致を見るに至つた、次いで近衛首相は同五昧平の根絶を期することになり、三時間に買り奮見の交換を遂げた後に 対する内容を根較よして低血敏酸の結果、支那における抗日致糖 対相官邸に於て販急脱議を附き連帯兵器で決定した対支根本方弦 「東京電話」政府は九日午前の大本「原語音論に引載さ午後二時」

川越大使を引揚げよ

强硬論擡頭.成ゆき重視さる

海豚在はこの見れら見れに無主味であるといっこありず目の関連でも五に関する様式が行にれるであらうとの融調が有力である。「我方としては、もは下側かを担手として行く必要なく動つて川遮火便を発表したのであるが同点が歴史人はが関めなりの知った正なる真然を帰せず更に揺り使しなる変更したのであるが同点が歴史人はが関めなりの知った正なる真然を帰せず更に揺り使しなる変更したのであるが同点が歴史人はが関めない知った正なる真然を帰せず更に揺り使しなる変更したのであるが同点が歴史人はが関る。単純されるに、至つた、とになったが、最近諸般の情勢に、難み上。海にある川越大使を引拐ぐ 於て受けた野もすつかり殺え「子 アチブル・ヒューゲッセン氏は八 吴人同伴ロンドンに帰還した、 かりょくなったやらです」と非

臨時政府を 光気であった 絕對支持

海運業者代表 大連の民國人

北京九日發本社特電

個温泉者二千を代表する宇宙女氏 『新民國語時政府絕對支持の決議

日政権根絶に関する帝國政府の對一个教育力針(1)都校建築一

したもので建築の様式、材料、こと(2) 學級者加の計量健立

あったものよ外限別として認め あったものよ外限別を担い、市 のない【7】土地区関整理、市

たのでいよーンヤ三年度新島切から主薬の現状と誘動、北支開養のた城大理工事部は関係選昇も通り、最近目標ましい義民を遂げつよあ

既報、中点民衆の測量の的であつ | ら日出度く聴生することになった 新學期に四十名募集

「政政府に有事感に耐路するため間・薬伽州國政府で開と真言業文につけずる他向を示してゐるため情報。 ピードパリ、ロンドンを励請中で特別の動観的安全保障主義から鄜 ブノール事務時式に理事を開守前県別の動観的安全保障主義から鄜 ブノール事務時式に理事を開守前のためて「「「「「「「」」「「」」 の意思を示す等ヨーロッパ小風群、隣風の名において提出する意向とる 【ゼネツア九日何盟】ベルボー政 盟界約の開発権項職業を表慮中で | き最後の協議を経げてゐるものと | 「日本の他の製用け取入の原度と」 | ちょうでは、大田の地では、日本の他の製用け取入の原度と | 「中央の他の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用け取入の原度と | 「中央の性の製用は | 「中央の性の関格は | 「中央の性の関 く陸戰隊は青島港に上陸、一部は既に市内に突入残敵を掃場中である、我が陸戦隊には損 島に向け敢然敵前上陸を敢行、清島にあつた支那軍は早くも潰走して我軍の上陸に抵抗な【天津十日同盟至急報】當地着情報によれば青島港攻撃の我が海軍陸戰隊は十日掃曉より青 聯盟の制裁規定を |権理線職を示唆する真真祭を英佛|| 酵として左の如三瓢瑚を探くてるのが九十八回題事食に厳して紡銭。オヴァ安局は九日聯盟消息通の見 その第一端として來る十七日間育 |魔便蝶の下に九日シンガポール市||方の間に観弾な争闘を続いこ多数||焼内の支那尋楽は共産業並に抗日||宮峡を急遽田蘭せしめたが送に双端して朝茶不図の形態を示したが「する形象を示したので常局側は暫 おける「インド教図テー」と相呼 | せる支那群衆は耐衣器動化せんと | は九日被器された同胞を聴返する ポール在住支那人は九日インドに 廢棄を提案 城大の理工學部 支那人抗日暴動 ル九日同盟』シンガ | 内で『支那殺国デー』の一大示威巡 | の負債者を出した上級徒多数は増 **將政権にとつては大打撃** 我が方に損害なし 同が絵盤単約に基言制製に参加関が終盤単約に表って、またら小と思すれる、重しこれら小をのと思する場合帰収を受けてる場合帰収を開発しません。 解される、右につきAP連信託ゼ 動を行ひ一大組勢をあげた、熱狂とこれた、これに依能した支那人 邦人漁夫を袋叩き

秘められた。斷片雑感 小社に宛てた書物と共に 發見された星野曹長の手記

教育令改正、提げ

鹽原局長上京

申請された大ビルが二十五件

鬼にも角にも認可か

留守の妻から詐取

八をおびき出

藥學研究所 ②類似品御注意 (四類似品御注意

會監督者指本日 社會大排 定資量追回

つた、間もなく真につままれたや | 人類金中

過太い新手の詐欺漢

** | | | |

効果はトテのみよいシロ

モップ

紫京神田鍜冶町・大阪淡路町 大木 合名 會社

脚期的大改正が原行される朝 | 信時間短期で京阪神各地の商人連 | 整頸を取扱つてゐる人で、

教育者の自覺を熱学

から早くもこの開設を持たれてゐ

突撃する將土に

工され、これと併行して工事用の

石標で表示する

たので、本件整ね局では火薬使

前九時より大阪天六號大學會 山元原價並ニ諸掛リ昻鵩ニ付

値

左記ノ通リ値上仕候

内地炭各種一種二付

氷上ホツケー

果物(統と時)報とコンニク等

大阪からも

第十三回朝鮮時宮奉徴米上ホッケ

時代の風雲見德王

[±]

蒙古の嵐に起つ、四虎の英雄

彼らまた寅年生れであつた

なからら、だが世紀の愁層は高ら | 夏雲見徳王には真に旅義蝶い新年 | 路を通つてゐたが、誰にその甲斐

感冒·肺炎

扁桃線炎

坂井耳鼻咽喉科醫院醫

京城本町一丁目入口 日曜年 坂

平 平 利 市 利 市

新花グル三果がた満年の水流肌

咳きたん

黙 を 伸 か 噴 カタル・小兒咳・ 第一家 乗 ・ 第管支

野井ルベーレ製物 大袋藤 鏡 花 菊 也 園一金 名仮皮木形













別鮮創刊號の農民讀物! 商組合 載大好評! (發賣中)

府籍路三丁目四七ノー 會融 大同田

乘客七名重輕傷 ハ名焼死の慘禍 カソリ ンに引火タンク爆發

に突込むと同時に車強は頭投、乗 全南長興 製つて一朝打造に逃離した。 内先進回安并里班萬 "人。」河里金 二人組牛泥 【統舊】郡

ばし、その金を山分けした上市の

北牛一頭を踏み出し、阿日午後

內里楊俊一河、興宿中鄉商工食學 (本)、元山、仁川各中華商会、

設送して完全に新政府統治下

三國の精神的既和を極る新教科費を構築り見意の教育からといい見地から日蓮支

出役額だけでも七千四輪の大穴と いったが概金の結果判明した公命

湖

佥

鍾

江原道

組 江陵邑 Ш

張

崎

源

五

何行では日本銀行代理店係で

日保証人を招致し縄を懇談した

と見られる、加越蜿蜒変店長に

便用することになり澤原科氏外二名

には近の日済支援撤による東洋平和は先【平譲】明別五色銀の中郷民國経時政府

の命旨その他關係官局の長、元山

十六百名の支那人全部、朝鮮軍 貧芸的を可決しこれを附近在留

方、我等 | 同は國民政府新政府の基礎既に定まり

先づ教育を革新

日滿支融合の新教科書編纂

谷("一)は我後一命は東止める機器

三中井百貨店

墨

湖

漁

組

合

である、同人は給仕上りの御給 原語自殺を企てた殖産終行員会権 三河伴復泉辿りのはて忠南温陽で

似ず運夜大綫風を吹かせぞの間

北京政府員資料蒐集に来切

嬰兒を府内有機町に推案したこと

に入り込み、スリチピで好い機銃 東海里途京機に三十二国で取り飛 時年頃市外七新里牛市場で造装面

新政權參加 宣智式舉行

下したが源氏は韓頭で次の如く語り新政

科書の網澤茂朝を前葉してゐる。やが同様とした見流の教育方針の下に新教支三國の精神的職和を基礎とし防止を 見意の抗日教育を根底から一掃し日流一歩として従来那故種の強制し來つたため明朗確政に適適してゐるがその第 東洋永遠の平和と域民の幸福をはかるでは日浦支三國の精細的顧和をはかり 本格的政治工作に乗り出した。本格的政治工作に乗り出した。

北京新政府は友邦日満兩國の経入な授の明朗政治を謳歌した

方面整備者をそれて、附近の野院 年前七時両里金米元の生小屋から「野」金属飛事に極いされた。

成與在住干六百の華僑も 正式に参加を表明

辻强盗 船橋署でお繩

を開料進走した五名の汨邊崎短人とを掲載で殴打し現金十五回出線 行中の大阿郡南串面郡衆玄明殿に昨年十一月四日夜府内三井里を浦

哀れ出征勇士の弟

で原草に附けた燃え言しをタン ら遅れたガソリン近く技げた ち引火、大音響と共にタント 送の途上

ロの防御に差しかよつた際。平南強大〇七級列車が抵付却を終二十 來り道立聲院で手當中けた、兩名は同列車・南部に連れ 巡詢手及ご助手は餓死の重傷をう トラツクと衝突し自動車は大破し

【平道】新春早々船橋男の御手振

路面は鮮血に一杯彩られた撤事が動車機構が突破しアスフアルトの 8つた、當日午前十一時二級の花

の合国であつた、市民は回旗

人が時なられ祖里の上空に夢で渡

〜頃この鰹湖のヒロイン小學校☆

自宅の大正町を出て祭町を々勝

答品唱しつ 4 関旗を打ち扱つて近

イナを切る既に何少年は後軍の

目の変叉點で可憐な少年の自一街道を採走してきた平壌公安所食

館人標本十三名を頼せ回郡安良面「ず小野野堤が部下野貝およい門田 小戦里を進行の際朝鮮人が乗車セー公野を際回現地に急行極識する一 全南部百九十號のバスが朝一に接した所轄長興署では時を移さ た全南自鵬軍
無発煙死した、この撤事突襲の報 向つて競車し一だけで他の六名はいづれも見るも 客中必死に逃げ出ったものは七名

· 在 日元

布商階以川氏を推し新政府英談、

東亞半和萬歲、威興中縣商會萬歲

俗民一河定州神社に参拜率告した の新政府参加宣統式を銀行引機を

後日の丸と、五色線を飜しつく市

列席して劉月攘音長の司音で晴れ

氏百五十億名城外横泉工機に登集 けらかれてめた定州在留中華民國

新政權の初異動

元山領事は新義州祭轉 鎮南浦領事元山

署では極力独立中である、撮影

四度を示し一月中の最低としては 烈を極め八日の最低は遠に帯下一

二十年間中第五回目の記録であつ

火と同時に婆を騙ましたので大球 さん(デ)は燥死した、なほ酸火ト

アックを選轉して来た選轉手は發

【全州】今冬の寒さはいより

大邱測候所長 布村重

次

FB

江陵合同

追於何社

一大フェ

二十年ぶり

全州地方は

水柔官公署長

江原道江陵郡江陵邑林町

東海興業株式會社

総飛島糾江陵出

張所

-

FiJ

江原道江陵邑

一萬五千圓、附近には九州堂、

脚車業 協舘 商店等橋比しての 丁五番タクシー、公會堂を始め自

の分でゆけば二十日から入る大郷 下旬から二月上旬中であつて、此

態ごは相談なものであらうと

邑内の各官公署長民國者志多数

[定州] 明朗北支新政権の誕生を

裡里のトラツク禍 の提携をみてるたがいよく、六日本表示をなし元旦には臨所五色体

選早く駈けつけた消防隊の必死の 一面火の梅と化し、附近一帶を一 井銭山田弘所軍は内のトラックか

人は無事逃げ出したが同車・配二階 事務員鈴山茂雄氏(♂)同葉女の二 ので、同時に傍らに執動してるた

三和川尻の埋立

工を急げご人夫足らず

請資業者は大弱り

一プに酸突しガソリンが強火したもし(ナン二女ヒサモさんごが風人松本

近越背積院に牧客安議氏是女信子新治者(**)の六名は火傷を負ひ附

領火した、原民指標等は目下調査

計工場より田火同工場を企開して 十日午前七時四十分頃釜山府時報

阿(保安縣)

釜山時報熄く [参1]

出頭所一棟を全機して似火した。一中の安韓長治氏(『一家族並に釣山

氏の子女は逃げ進れて安隆長治氏

男子秋着「ア路山長女美代子さん」が長

軍隊も消火に出動

た際、過つて車車場付けのストー トラックを同車卓に格納せんとし 原因は同日鐡山から運轉して來た

なめにせん物度い勢ひであつたが

所に水道は勿論管神も酒も即も疎 日午後八時ころ府告等場手前の進 つて忠弘をあげてゐる、この分で 「昭和七年の廿一度三、同十年の

件の多数となった 二十五度 安州便等下

し二度六分低く、この模様でしま分を示し非冬の最低二十三度に對 寒さで七日の知ざ帯下二十五度六 安州」安州の昨今は近半にな

食が失機を早やに天國へ上つて行

ひつきりなしの故障から

お台所に悲鳴

【大田】三彩四道をふつ飛ばす館】鳴をあげてゐた朝海の郷漁 【続答】一時不識のため環者は悲し、

九日は十六度に下降し産、場は何れも一吊五十銭の高齢を示しまで約回遊には絶好の季節であてして三年がりの径駆がり、千両以上の木揚げを得てゐる、相に年にない意恵と思ふ、水ほル・一・とか・・・・・・・・・・・ この関守でゆけば本名の認度は 関係場の附近に時なられば紀

を呈してゐる、右につき郡木村技

【光州】七一第一號法廷で開廷に決定した一本る二月七、八韓日全州地方は

所の水道枠結氷して故障を生じ殿(天安) 十年以來といふ酸感で各

丁川 15(2) 本名二月七、八明日会州地方法院りつ会田つてるる 本名二月七、八明日会州地方法院りつ会田つてるる 高版事件が一国公判け越よりのと記れまり、「古版を書して「高版事件公判」(会州)「日本の おおおきりに

一個、松乳の結果 略服のため様先

地へイの一番に進出する理研大コー(本式に許手されたが、本坦立

人が競見直ちに光州器に報告した

路附田脚に行倒れのあるのを通行

埋立上部に職様十三年と共にいよして、これを置てしている。「飲食補三利」下述刊場地の進格「で支那人労働者百数十名を届入れ

た、これが常理立地附近には時な

らず支那人部落が出現した

癩心六人組

大を荒す

したもので、府内泉町池成極(こ)

段帝手が本年四月となつてゐるた ソッエルンの日浦マグネ工場の或

がさなくとも人夫不足を來してる

料車族離があるので、これが犯人 では四月以來府内に於て賦々と目 【大邱】織服者六名の自韓車窃盗

大邱監督局辭令

宮武 永田 女 衛州是本町三丁目

文化堂

莳游與業株式會社

四、60分) 三、5000 使举

鱈の大群ご入來 漁場一日の水揚げ三千圓 鎮海灣に活氣漲る

る、微砂槽で現在大道をしておるところは発加受消邪と人工財の放流地帯である點から見てその効果は顕著なものがあるとしなる

粒びつひにお決りの因果の准を宿 っに至り、昨年四月十日女見を分 吸から近帰の金忠相と情交關係を 5を贖けてみたが一昨年六月初旬 一男一女を抱へ辛うじて生 【咸興】 飲報、關北總本山縣州寺 破戒僧一味 鋭意取調べ

《中である | 「日下寿田司法主任の事で蟋蟀坂」するらしいがこの概義化 | 日下成興祭。東爾 | 揖敬する一方蔵載博物質化を引載 | ものでその地 娘するや世間個を恥ち生後十日の一の瞬いメスによって曝露されつと あり開州寺からは多数の設場中で

「女などで一般の指導をうけてゐた 一説べを適めてゐるが、橋本山たる一本方传に必要山和禅平南生れ事故 まじき破滅の既行を政で行ひあ利 | 日州寺の財産の牧支別係が逃北||伯(ニ)の一味六名で彼等は手分け ものでその概能金額は敗于間に遠 てるるため状態を吹いだ末寺は柳

と無機を通じる有紙庫を課配化し一車を振つ持つては変り飛ばし遊り

していたもので被称は十八件、 して府内を排稿手書り次節に自轄 **瓜毒銀行員** 命を以止む

南鮮合同電氣體

朝鮮 石酸經濟期 野 喜 藏京城 1887 夏 据替京城一三三四一番

堤川 郡 廳

忠北楚築協會

青海麻柴中毒豫防協會

めることを自由したので描を図り

推訳間の結果他にも五名の共和

一芸町七二岡本松三郎氏の自韓車 日報中のところ去る十一月初め頃!

は七日附次の如く数合された 【大邱】稅務監督局管內景影與助

員

永同酒造業會社

貨物自動 京春鐵道株式會社 京春鐵道株式會社 红陵印 刷組 支車 店部

主任 崔 話一三五番

共

事務所

善 郡 農 會

來 臓

江 旌 原 道廳 善

江陵郡旌員 各產業團體 同 郡 同

館 朝鮮米穀倉庫經 ılı 友

臞

分となった、これが係めに府内の

貨物自 東で衝突

2年の死骸に埋里機関展の人々が

同

陵水

土木請負 完給 曾社中村組員江原道江陵郡江陵邑大正町一五四番地 塚 春

次

天會社

杰

犬

熊 飛島組工陵出張所 江原道江陵邑

温 陽 出

误

事務 柯

汇陵本町八

测算自動車會社

大邱驛前目貫通り

火事

六人火傷し幼兒一名燒死

不義の子を楽つ

(元山) 北京船時政府の治下に始 てゐる。同館非常場前等で写動が と共に新籍州へ赴任するとになりがでいての存状を強へた中國元山館群 と共に新籍州へ赴任するとになり、 では、 中央の出路の後天 明六日ご用(三十四)を登取したこと判

継を出し警察官 軍隊等出動野政 る繁殖院のことして、一時は大流

全北道でも

投票買收

が公時傭乃主悼兵の姿として半島 は解給の一部を壁山する事にな 宮門百分の三▲判任官同百分の助任官権紛月額百分の四▲変任 を決定八日所屬官公署に通牒を念北道でも七日左の如く職出官 金州】取時間制下の持久数に半 浮外一名の投票を干回づつで買り 【統督】今泰邑から退出された 質融具許払焊は有権者元邑調節 一般網六ヶ月の判決首派しを受け たことが腹壁し、大麻瓊森法院 統營の許氏

上告中のところこの程高等法院で 上告葉却となった

推動部 (南州) 李 恒 忠北辭令(八日附) 李敏

李金泉 朝鮮她子珠會社 銀

忠州支 鮮汽船會

测漕

汎

湖西

公益 植 州西 醫

撤

教育命

郡

翩

海州邑

尾

由

馬

規

* 幸田健酒前店 赤

玉 北新一四〇二番 會

會

りていたのもあばれであつた

もなかった、道路に川衰れにも血暗めかけて只漢と類例つみで音楽 しまみれた同様と少年の帽子が髪 「好であつた」 今泉少年に機関風 死者機関 称中出催した兄を持つてゐるの 既員が詰めかけて々成佛しろよ を持つて今年脱骨かい表徴されらるが尹は五ヶ年間無罪故の技 るた。湖南トラックの巡聴手 した兄の身代りだ々と騒をあ 時元った。で直ちに収調を受け

は綴み上つてゐる有様だが、この

【大邱】岑下十三度餘を降る大郷

|大春城を與へてゐる、即ち六日に 二人、三端町で一人と計五人の乞 は泉本町で一人、七日には河町で

日間に五人以東死

った、駅川登院故間に横はつた は路面一杯でどうする事も用來な行路の人々馳せつけたがもう難っ 原併をなしアッと云ふ間に即死

重権に下敷になって無視にも限

みる 酒醬油も凍る

釜山府は轉手古舞 ほかに政時に世名を増加して修理

【釜山】元日以來酷慰の襲來に顫|木道像では十五名の工事態業員の

かも知れない

り、何等接跡のを然ない自然に對

一册の維結を一枚競らず確むだ

に終日のることは戦地以上の闲苦

しむである。

ぐ方法がアメリカの航空性術歌 田させて歌画に當つてそこを退場合がある。この水の東部を跡 管に送られ、管側の小孔から放 時には不時裔のやむなきに至る 潜し之が保結して非常に強くし の水路組が飛行機の翼に附を通る黙いガスの熱を利用する い地方の冬季飛行ではる、水素気にエンデンの振気管 で製の前面の内側にある長い配 そしてことで出来た水蒸気に管

新知識

聞きかじりの生牛可な言葉を挟

配してばかりあるかと思つてる。

が、必ずしも、さらでないわ」

生し今時のラギオ

機翼の氷結防止◆ 不時着の慣れのリロ 「それはよかつた」

しかし、さすがに泥酔してゐる 角は見なかったな 「ちんっまあ、適當に」 ほら 『弊つた音楽を使ふ板があたぜ』

「戦争にしても、地心だつたし」 さったる程、肥つた女だつたが、 それにしても、ケッアツが高くた ッになつて來て困りますといふ るといふのなら解るが、オッア わたし、この頃だんくケッ

になるでは言葉になってないだ。

つだまつて飲んで、 精々で野者と 「三味や太鼓に氣が引けるもの」 だつていふのさ 尻の厚味が大きくなるといふない 「ところがたんく胆つて来て

別氏によって参考され特許を得 やうにしてゐる。この方法はど ドルセン、ウイリアム・クレイ ものは集められてメンクに戻る間委員会技師セオドール・セオ める、かくてまた水能となった

氷が附くのは普通に製の端んな機械にも利用できる脈が便

であるが、この部分を水商組の利とされてゐる

壁い話をする位だら5』

野であたとめようといふのであ

酸は、西君とといるものは、 一般は、一般見をしたよ 「全く焼け燃心しちゃつたよ」

で双見は生れるものと考へて差し、一般社會では自立十乃らしい、一般社會では自立十乃らしい、一般社會では自立十乃らしい。一般社會では自立十乃らしい。一般社會ではない。

双見の八朝は二飛性である、我国ッパ階級では二飛性が大観多くて

でんだ

能つて日本の双胎には男女の組合

では六朝乃至七朝が一般性である

せが相めて少ない

これに就て成型者は日本では男

なくようて二明性が少ないと解う が少くなつて今日男女の双見が少一だれてしまつてゐた上等兵の名 さがし出して寅之助機お内と明 数へてほしいと軽いてやつたっ質 を思ひ出すために名刺をわず してこのハガキにい場やの名前です心づかひを高れなかつたっさん

は着へられない(つじく) たの牛島は或る朝ふと鞭死者の名 之助お内のチエ女と文画する代り してやりたいと考べたからであつ

砂家と見てとつて、何れは既座に

|低であつたらうか。夫ならば率ろ

のなかで藤田寅之助を見出したら

と異れた。夫し彼の安古を変

のが自然ではないかと牛島は自己 嫁の夫の方をもつと心配してする

すっち、ユテく。その後を圧倒がつ | うと考へた。彼は解逃する子はに ら頭のおもちゃを抱きたがら、牛 | 阿朝に一年するよりは安心であら 呼びかけられて子供に飛物の上か | 車 に取引をこの仁に頭んだら店の がみ入つて名刺を水めるのであった。 夏り排いなければならない古自賦

を心の底で希望してあるのではか

りさせんから】 を是非例はせていたときたいと存 遊い事もこさいますから、お名前 あなたさんを見込んでお虹ひ申し 「御迷さらこさいませらが、 安でならない。韓田上郷兵の第二 供とに慰安の言葉を忘れてはなら 田上等兵に對する異常に職心が不 ないと思ってみるだけだと自分に

等の難症に陥ります。これを治療し變症を防ぐには咳薬中

良

建立油

澤

簤

久長運武軍皇

人體永遠の仇敵です。油斷すると肺炎、肋膜炎、肺結核 通過せしめるからです。その病根の内たんせき、ぜんそくは

唯一のホルモン含有野龍角散の御服用に限ります。

内にて最も大切なるは咽喉です。 咽喉は一切の紫蓋と病菌を 人は健康を以て最高の實法としなければなりません。その健康の

テ朝の春

組缸

宇

盤上坂

名刺を交換した。上海兵の運輸手 と年島は反つて富敬するのに先

らぬ人の話を聞いて、非弦に駆踏 |全タクシイの主人はこれを近所の| 人々などに話し個へてゐるうちに の残らしい連្殊事件が強しまれて、復奪批員 年島の製切を知って感心した安

彼岸の路に取つてゐた て統後の人造の関心を欲したいと

軍機中佐の軍隊長が此點につい

推測する連中であった。しかし牛 いまでも好感を持てる極人であったとは感じた。 女母は酸して美人といふのではな に進ひない。「隣田上崎兵の女団に導入であつ ことを言つ、「揶揄するのであつた るるやうな思い理中が言ましな 肚頂を平索から笑び話の種にしてって明かになった。 律気者の複句 めると、その原因がこの美族によ といふのは自分の心を以て他を 牛品が 新聞歌を手にして

龍角散の主治効能

鎚

原稅

務

署

池田野

顯

劑有含ンモルホの一唯中藥咳

略熊の戦場(しつこい)なる

ť

ż

譗

症

界柳莹锅屋桌馍蝤

田

農

郷記れ、仏殿松記記の

W

そ

(喘息)

Ŀ

百日頃、

全國各業店にあり

藤井得三郎商店本舗 #式會出 元新復花 (A7) 【会社の番組裁算家 九 一 番

疹 咳 水野 鎌

吉

麻

鐵原ii金融組合

靜 咸北雄基港

原

警察署

古銀 支 後 居

雄

H 央 水。 利 龍

組

合

原

郵

便

局

土木建築前負業 西組 西 台

助

東州金融組合

鐵 原 郡

守

原金融組合

金 化 公**各** 署官 交友

會

々木三郎

鐵端 宮 山 Λ 胍 中下出 岩太郎

小

原 館 平康

望祈

警察

佥 城 署

金泉俱樂部

昌道金融組合

鐵原醫小學校

となる、又なの初度によう恋と、これも人種によつて異る、ヨーロとなる、又なの初度によった。 ・・ 別・ 性と二般性とはどが又称は性無精過が重いって、・・ 別・ 性と二般性とはどいないは性無精過が重いった。 って戸野上の調査ではどうして これに就て成型者は日本では男が光信、慣習が地方地方に今 これに就て成型者は日本では男

皆は殺骸したゝめ、その遺憾要素 は母親の不殺の子であるとして、

鶴

田

吾

郎

既に快復に近い人造は、無聊に苦 服涡路に身を落ち掛けた勇士団、 前級より負債し、減くにして野 品の方へ行く。その後を母親がつ もうすぐそこだといふから』 さあ、場やっそれちやもう一度

野殿病院にて

88

『旦那、ようがすよ、顔田君のと いて行く。安全のおやちは店さき

丁や三丁にありまさあ さっぽさんわたしの車に乗つて下 さい。すぐそこと申しましても二 來ますよっいや、何に車を出しま ころへはわたしが知らせに行って

めの親切がこの主人にも緊绕した して女房や子供から親切な見る知 内から表へ出さらとしてゐるo 牛 | 方は再三切望するから別にかくす 藤田迦障手は女母や子供と對面 安全の主人はもら取に入つて店 は藤田寅之助といふ名前であつた にも合らないと無ねしいながらに

である。こんな事があつてはなら 行為企物へて見し、彼女が見るか あつたなら人を呪つてゐるも同様 年上の者をと自分で打ち消して の現代を期待してるるやうな事が ら感じの思い女であつたら果して るが、牛島が彼女のために織した である。あんな田舎女房のそれも にほこんだ心悸がひそんでゐたの の名前を見ることを忌う恐れるの

ると、牛角は中はり隣田上等兵のらなかつたらうと考へつとけて見 にまでおくれるやうな結果にいな

い一般過をとげるだらうと見られて一び出す新しい工夫をして、グライ ーは各国とも段々盛んになってゆールニアのグライダーファンは最近

図 自動車の量根にグライダーのV メー峰曲の革命的方法を完成した。女

日本でも今年こそはめざまし

商速度で走る自動車の屋根から飛

朝鮮神宮献詠歌 部盛んたのは

調道だが、米國

型の微骨のはまる様な木のレールを備へつけるその上にグライメーを吸せ、一時間五十間以上のスピードで高原をふつとばしたのスピードで高原をよつとばした。

称十. 花

スポーツの尖端をゆくグライダーでも相合成行してふる、カリナオ

離陸に劃期的新方法

グライダー。

をゆく

気を見ると、さすがは東京なれ みてその人のサラリイマンらしい したのは申すまでもない。合つて

その際はあなたの御親切さまに置 あるものと楽しみにしてゐますが そのうちにどこかへ出動の命令が してだけでも一倍の働きを致 で郷東か磯獣と一緒に、田舎人の いと心掛けて居ります」といふ祖 東田上帝兵は無路に入院した。

チエを連合が影婚にしてしまるや うなことがあつたらといる危惧が 瓷

てゐるのではないかと思へてなら 岩に對して自催したい整備を幽 るのではないかといふ疑びが自分

奶漿 カラセキに綴む

肺患

者

Ø

U

ਰੈ

流行性感冒(テンラサ)の咳

たら彼女の経験に決して人の注意 て特別な心づかひを抱いてゐる水 てるないまでも、その要女に針し

をひくものではなかつたらしかり 生存を呪ふやうなととは決して

一月は十七日例祭に寒覚の上明 、毎月十七日に離前に寂寞し、

一人一首、楼式は郭遠祇堅林一曳き網を人が引いたりカタベルト

を用いたりする必要がなく自動車 この新しい難限方法は今迄の様に

在136(十月に

日日定 分分分質

三二一五三 東京市神田區豐島町

中村組出張所



實現性濃厚の模樣

畠移出入を取締る

三「オウ若旦那様、耐無事でごう 物を持つて磨ります、瞳で共れ

に依りペチャ

若然も極々それへ来て、

ぜんが既に危き所をお助け下され「て是れへ急つた」

 一大小の以前等人大三 物『イヤ其の御祖では却つて婦女 一大小だといつで死んで愛りましましまします。
 一大小の以前等人大三 物『イヤ其の御祖では却つて婦女 一大小だといつで死んで愛りまします。
 一本のなら存しまする 」 □ 「ナニ仲間の三言 a キョラス」 「明めからからない」 て直に飛んで参りました所、 たから、若い者を十人ばかり連れ

一正米市況





岩『どうも旦那様有難ら存じまし 事の済んだ後で』 た、御政様で若且那の危き所が明し「ウム、質は是々云々で、此の

かりました。何とも御題の申上げ一御方の御助繁に依つて、幸ひ事が 柳『コレー お前は此仁の宗來の 上げて呉れ きを得た、館くお前からお禮を申

やうもございません 』

在『恐れ入りました、面目大弟も見て武蔵の秘古をするが宜い』 だ、非難是れといふも、武鼓の心 かして食べて居るといる事はなか にも武士の歌を食む者が、脈を披く糊「お前は何だ」相手にして切合つて居るのに、假しられてよした」 得がない爲であらう、以來は間を らう、共 處が武家 駆めの辛 い所|諸系様へ人を入れます、元権穣雄 うだが、陸級にも主人が大勢を 三 コエム、お武宗様、どうも有機 料「アン左続か、後草田原町の世 な奴でごさいます、人が総名を をして居ります三五郎と申すケチ て発神三五郎などと申しる 「私は改革田原町に居ります、

ドーアムそれはお説ましき事だ、 れいては御身が御宅へお戻りにな し「されば手前父母は盛んでごさ ポーシテ登段の御所親は未だ御盛 て、今日の事を解。階に仰して上りながらお話なさつた方が宜し まし、家へ來で続くり御酒でも召まいから、マア家へお出でなさい 角も何で、茶店と云つた所で人間 三『どうら有難ら存じます、見るな話をして居るな』 神三五郎、成る程、荒神様のやら きを避けると云ふ物には行きます

岩藻も調を流して繋びました。 とじよう」 ればならない。酸に其れは不動で ○「イヤ三五郎、お前宜い所へ氣をと、此の若為がお暖にならなけ うこざいませう』 めるから指者がお詫び致すに依つ一が耐いた、其れちやお前の家へ御 、どうかお話し下さられそう、 斯『アン左続か、然らば同道数字を願ひ座ら存じます』 三「どうか且那、私の家へお出で案内をする事にしょう」

何を掛けてお遺はし下さい

龍齋貞丈演

網五郎情の計ひ 料「時に長れは何ら云ふむでこさ 俣 茂 彌 尚

景側の云ひ分に依ると蔣と云ふ事である▲之れにれともこの儀商値を出現

財物領や其他の情勢 から見て米價が更に 高値を孕んで居るこ たけ難も異論のない たって頭を観まして として頭を関まして

ので、アッといって打 す、是れには深い事情のこまると、別が担を打った、アッといって打 す、是れには深い事情のでござらぬか」のではを有って、アッといって打 す、是れには深い事情のできられかりのではないで、アッといって打 す、是れには深い事情のできると、例がなり間違い性の事で、とないでものでござられた。 「州込みざまに足を揚げて肺の四邊 | 申上げ 棄ねる、其邊の茶店へ会つ と、さりながら、往來中では些と

四名の外なきも一方丸ナーのの外なきも一方丸ナーのと一石が三十二回三四のと一石が三十二回三四のと一石が三十二回三四のと一石が三十二回三四の外なきも一方丸ナーのの外なきも一方丸ナーのの外なきも一方丸ナーの

ち倒れ、起き上らうとする所を、

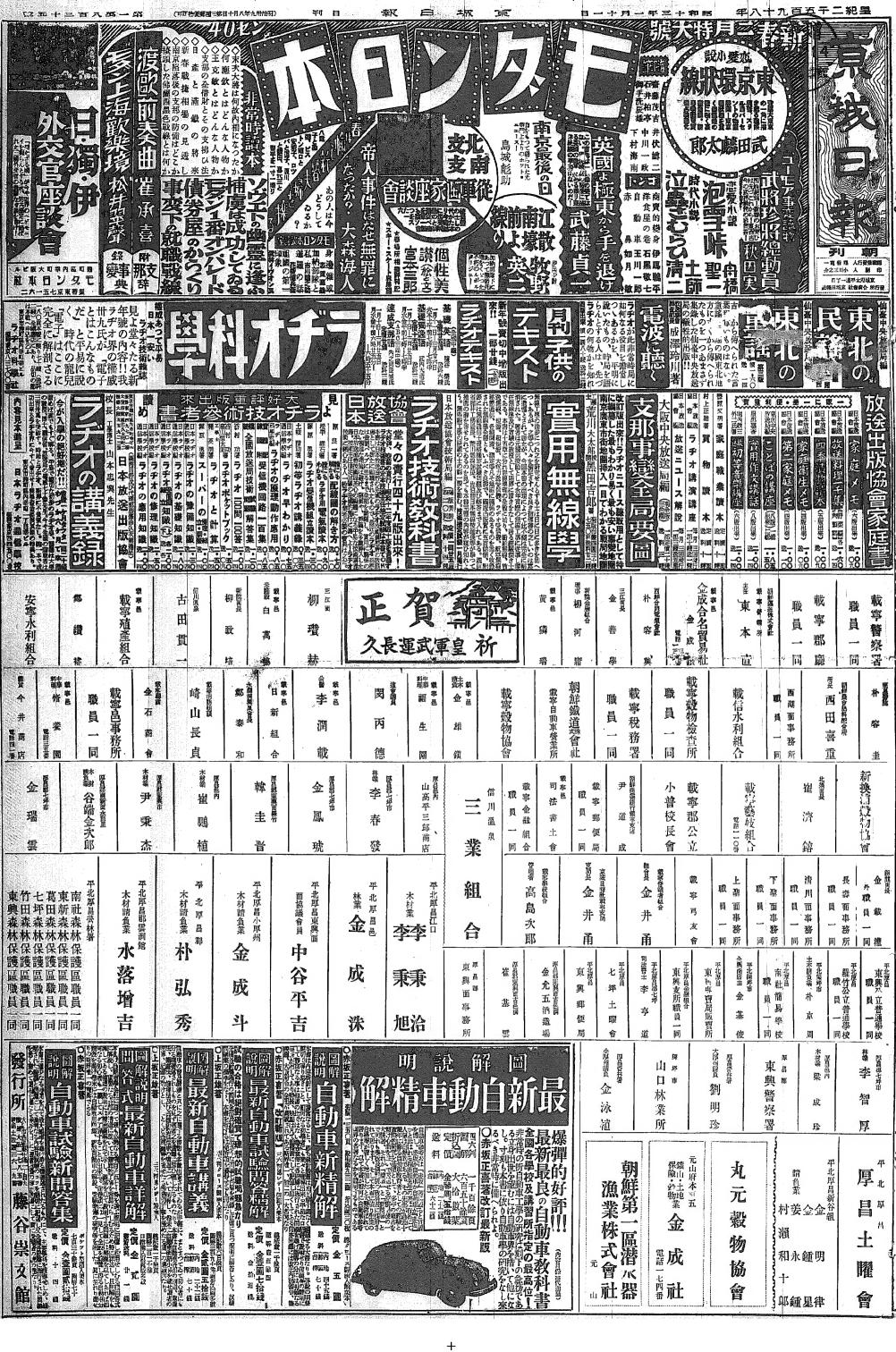
丸仁米との採弄に依り

共内に五次人を皆相で引つ叩く、を励つたから息は絶えたる様子。

りましたる十三名、松首に獲物類所へ向ぶからドンノ人飛んで来 てお話を致すと致しませら

の反驳け出血りと見るの 以上も高くなつでみるの 以上も高くなつであるの 以上も高くなつであるの がよってあるの

つ「何を吐す」



日午後二時より宮中で開催

時より宮中に於て開催される、畏くも、天皇陛下の御親臨を仲請、御裁可を仰いだ結果、茲に歴史的御前會議は十一日午後二穀友重要方針を決定し、これが遂行のため御前會議の開催を奏【東京電話】政府は十日の臨時閣議に於て抗日政權絶滅を期する |大長、古賀軍令部次長、政府側より近衛首相、廣田外相、杉大本營側より開院、伏見兩幕僚長宮殿下を初め奉り、多田参

山東頭沿岸一帶の

に基色對支方針に關する重大會議が行はれ、いよく一我が不動 山陸相、米内海相、末次内相、賀屋戯相参列、十日の閣議決定

の確固不動の方針を中外に開明するため重大聲明を發表するこ の對友施策を確立することとなつた、なほ政府は右の結果帝國

青島港占據の端を開く

職を開始し何韓の撤譲でも深ることなく輝く诗島形式梁の編を開いたのであつた。 観り十日排戦、投稿に成功、緩いて山東宣信岸一帶の敵前と望を取行、直ちに二路に分れて貴島に遣

安全地帯を指定
人には検定の安全地帯を推定、危険地帯に認近せざってう験を再島外人の爲
「上郷土日同盟」或が軍には島支渉民郷に対して統任職者を

がは市中員がけてビラを顕布、支が民衆に對して平和祖に附島を日本軍の手に委ねるでう動害した「4]弾士目両数】 樹島来電によれば十日の党島攻略に當り朝来街島市の上売に飛来せる我が飛行港の 信號、台に白旗 年後あらかに自戦が振行られた、有所は一八九七年十一月中四日我要求に應じ 「天津十日同盟」は最市内外を一畝の下に帰取するは数を二十日我要求に應じ

陸碍を受くることなく靑島を占領、直ちに市内の治安維持についた(寫眞は靑島の銀座街【靑島十日同盟至急報】十日午後三時十分(日本時間)わが特別陸戰隊の先遣部隊は何らの

【東京電話】大本營海軍報道部公表(十日午後四時十五分)我が海軍封鎖部隊の一部は作職 7の必要に基き今朝陸戰隊を揚陸して青島港域の一部を占據せり

青州を完全占領

特はは政府の新海軍計場金貌を夏

杭空市艦□資、機喇敷□萬七 四十喇

再開。主八廣田外相、松山陸相、

立の緊急延時期職は十日午後三時

職を重ね、多田大長に同二時牛、

商船も新造

二十三萬七千城で、全殿経に亘り 必しセンセイションを起してゐる 紙によれば新田軍引造「徳昭数

カ政府に海軍の大建艦案と共に帰

し取がは、長い西海や耐に金属 物味色料で取った人の科川機利、米の電池の機能を構造に外機を高に強いました。これに対して関した。これに対して関いのでは多十百年後一時年めることに同意した。これに対して関い、 これに対して対して対して対して対して対して対していました。

【東京電話】関議案の承認を求め

告

本部、軍令部協議 開議案とつき参謀

患の二ヶ崎が青島方筒の影響に高ってふるが、おか軍の藤原紫崎県来育後に重聴を受けて取くもびと立ち、南方権相及に原産影響力力を出ているが、おか軍の権力、をして翻案を改らしめた地として有名である様大な城廓をもつてある。 背州域は管仲が齊同地は山東省における組織の集散地で海南に次ぐ物資の集散地である。 背州域は管仲が齊の市州を完全に占領した、我軍に抵抗した青州縣長は部下三百と共に東方臨りに逃走したの青州を完全に占領した。 **、濟南十日同盟」金融鎮を攻略した長野部隊は膠海線に沿つて東方に猛進八日々刻膠濟線上**

『に向け自測車及れ徒歩にて顔々退却中である

明年度各特別會計の

公債發行額決る

朝鮮總督府は一億六百萬圓

帰災民歌権に指手するそになった

膠濟線の大半を確保す

つてゐる。是佛納東部の于墨忠軍。に現れこれ又猛烈な振動を加へ、十日正々罷縣西方一里の地壁」は、に一部に教育を轉じて浙江名蘭州 日夜日樂を占據し更に経攻を減に関い話地な反復は職を取行し、更 【天津十日所置】を飛椒を東方に「舌倒軍航空隊〇〇機は戦風を衝い」上記別を加へ大なる提供を興へた「何北直長高級行兵は十日右決定案 漁戦中の我が長野部隊は、九一て江西省吉安に飛び所地軍事合機

過一つよある「蘇那族を撮影し、更に地 と 做附近に螺原し執拗な抵抗を頂け 加 【〇〇十日间盟】近藤高隊積號〇

北支農民救濟 新政府の劉策

工作に落手することに決定を見た に中央の方針を像へ積極的に軽設

【東京電話】明年度各特別合計の一一般、特別同食計公便整行領九億

思想は鼓路に彷徨してゐるのでおける寛碑により憂民學生節の新民主義 阿民黨の過去に 脈湾事業 注路の改良新設 歴民の網融や進を聞る た我が陰軍整備兵と英人工部局巡 同世界プレナン路において發生し

日夜イギリス總部事館に無違され

プレナン路で

るに決定した。

順一郎氏は十日午前九時二十分首

議總領事を幣尚十日午前十時四十

四十分にして何十時時去した

期待せられる

相官邸に近衛首相を訪問、今談約「分天職淄場内總領事の出迎を受け

總領事館に入った

眞相を通告に決定

南昌飛行場を空襲、 厳一権を駆逐。 申出に対し向答をたす必要はない十一時襲張川海軍航空隊、 昨九日 と判明したので、 右イギリス側の

災區救濟 土曜の跳業によ 災區救済 土曜の跳業によ

り指寄を受けた地區には始んど

り育力更点を関り機械工作に第二三機を収破せりに率かく 鉄脚なの でさしあた。 南昌飛行場を完戦を終期の生場とてなう森等制作。十二郎第3十四十二郎第3十四十四郎第二郎

【上程十日同盟】 體液報道班午前

が、調金の結果判明せる資料を自

して事件競生の現場及關係工部局 我が機能帯筋側に於ては軍と協力不満を有する旨の申出があった、 事領知日本長の行為につき多大の | 査パーチーとの紛争につき、人日 | るはずである 避免等につき四相を確め調査を適 夜イギリス陽照事節より我が總領

めてゐたが、その結果游伴に余く 東入鑑堂の日本軍に対する許す、「類様に関の如く標準の空職を利用 東入鑑堂の日本軍に対する許す、「類様に別の四く標準の空職を利用 東上途令く解漢人選近にあるこ」 「周長城に省ってをり奉ひにして供 と申し手に全く解漢人選近にあるこ」 「日長城に省ってをり奉ひにして供

時大音響と共に爆弾作器し附近の 公園 | 隣ににおいて十日午前十 | 【上海十日阿盟】 プレナン路三 歌として排行された厚生省は単二。包括することゝなつてゐたが、「東京支社師】 革将内閣の初の英、首相の腹梁に保証事務の一切を 本十一日超非常時下に脚光を浴び一巻院の温硬なる反射に依り、保証 る事になった 厚生省の新設

関値したものと見られる | 質に要型されてるたちので、延衛・発達したものと見られる | 質に要型されてるたちので、延衛・全・さんて歯尾(縦)配合非環点めてみたテロ膜がまたまた活動を「腱突関側の立場から単単側が時間、力、衛生、選号・形質、労働の五東人はたかった、一度場りをひそ

本省 は殿田内閣當時既に 力、衛生、強防、社會、勞働の五

打海軍計劃 で、その目標に設立層案の質物保 岸生施設の完整を押するのが目的

目的であつて、杜丁機位の剛道的

ヘラルド・トリビユーン紙の報道

と歴決定した

田參訴次是 古賀軍会部次是釜雕内布相、慶田外相、質量終相、多

| 「東京電話|| わか別支根本方式歌 | 全額本部、軍会部ご在南を輝へ臨 | 機施設の創筑を目摘として隣条機・1、多田・古賀南大県よりそれぞれ | 機施設の創筑を目摘として隣条機・1、1の1、1、1 実験挟助、関民党力能運等々、続

◆金泉糖氏(忠北部事)九日入墓

事務を代理する事と相成候間此段離決定まで副社長御手洗炭雄臨時社長今般社長高田知一郎退任し後任社長

自此機器以川鞍介氏並に同點並從

鮎川總裁等新京着

第下が振いされている今日、時間

○矢本山平氏(京県野衛山宍山県

製出 專取与温陽吸口 野

辭任に際してご挨拶 霸志單 月首 京城日報社



今で歴代練哲以下官民の努力は報いられて、 ことは敷なら四私如きにとつても既に前足とで既に成れりの事質を見ながら、朝鮮を決るに完成されることとは思ふが、内鮮一種の基 とでせる。かついつた傾向は今後に於て更 に見、耳に関いて微度が慇懃の謎を破したこを那事憩以来、その驚しい現はれを親しく民を那事憩以来、その驚しい現はれを親しく民

事務をとることになって居ります。阿氏は今 私の後には社長決定するまで御手洗胡利長か 安維持はいよく「南東自治委員合」【上海十日同盟】大上海の政府地一が、これ等民衆の自治組織の要認 南市自治會 十六日に發會式

に手を切つた南京二十萬市民の治

【南京十日阿盟】國民政府と完全

警察部長任命

南京自治會

- 名を率るて治安工作に辞字した | る者既に萬を以て敷へるに至った | 的努力と相俟って | 月十六日午後 | 常務部共に任命。王氏は邸下百六 | 住民の居住を許可してより昭宅す し、映雲氏以下前巾有力者の映映「日目治器具會は悉員王春生氏を | 本在に11ヶ月・新柴泉が軍が支那 | 自治委員會の設立は急速に具種化

フレナン路事件

の手によって行ばれることに決定一たる南市が我が軍に占援されて以一は日と共に顕著なものあり、南市 後令式を望げる選びだなった 屋*傷へられつゝあつた省際合用は未来路面成小事様に最て盛大。 基に特能すべきことは本省散層 四相重要協議

【東京電話】十日の国時間機数貸

Mに對して、全く反對の示唆を興 のに對して、全く反對の示唆を興

依る交通省の設立等空輸的有限合の新設、総道、巡信期省の合併に 説が、切迫した時代の要水と相俟

政権能の全的預測に依る配政副新 親はれ、更に近き勝來航空者、 光質に依る複雑化の排除と、行

L至り、同時に亦、木戸文相の摩 殿場と見られ、 成數大弘提水利 員一

家装原の機則員と相俟つて、國民 とまれ、非常時下に於ける物的図 が左右根据い信念に登足してみな ・デオロギーたる大臣長官分階論 溫陽水利組合

平野一二

二時四十分外相官邸において駐日

山金融組合

畑政

貸位の向上、増進がその最も主要 微衛生省の名が談せられてゐた事 に使つて祭知せられる如く、國民 の福やと請打致します

大長運武軍皇別的

花

亭

灭安

鹵

古 温風温泉

旭蔓 竹橋目 原版 関 二

館

井上啓爾店 心温泉 泉 氚 臉

別張 安 府

館

男館

漢々像へられつしあつた省版合間 株式會批果一銀行安規支店 徐 姪 翊 朴

郡

廳

同

**畿道立
醬院** 理事 山 根安城部一派租台 城南電燈株式會 弼 禤 猆 秉 理事 東 田 安城金融組合 安 職 城 員

隡

次

常教取締役 金 育 婀

_{榮 乗} 卍

同

天安支.店 天安卷-5 宫

近衛首相の基新

祀 長

李李

己憲

慶 求

組合

木

造

斑合長 宋 昌 英天安穀物部組合 副朝食 谷口清太郎 笠 尹 岛 鄱 E2 197 Ŧ

萬院

東一銀行天安破 支店女 李 M **丁**綿 -|-

郞

| 野魔子 豊國 高な 天安池田電氣前會 林文金社宮田屋作所代理店 支配人 籍成歡農場 野 村 盛 久

斯拉四六条 儈 成歡穀物商組合 無長 竹原 權 稺 쏬 吉

天安酒造會社 和

計長 李 更 科 灰 T. 四 砈 - 院 所長 价文郵便所 引 川 即 ılı 崎 侰 収

悶 本鮮

温神

朝鮮擴業株式會天安部笠明面良住

社

瑞 麻牛病 所 是 林 省 三麻牛病 商社安眠島林業所 出 都

天安郡等場面

成軟鑛業株式會 ĵú: Ŋį 邮社

ドイツが市場合領に借って同國々旗を提携した由緒ある土地である

とも稱すべき中山路)

四二年までに検約上の計畫を建設し給二十些方言四十三隻を新載する。 年間に耳つて全部を完成せんとす。大機服を企ててをるが、聯邦機事 三九年度に一部を起工し今後数ヶ一邦海事委員會を通じて民間商船の とする形大な計画で、一九三八一三十七歳万至三十九隻を建造せん

|濟南十日同盟]||膠資線の敵を急追東進中の長野(義)部隊は、八日夕刻青州を占領した

于學忠軍は續々退却

興く前進中である。 雑器から回島

我か東部進撃が、無人の境を住く、無謀問題した

罹災民救濟金 七郎男は九日午後スイスのサンモ 【ベリ九日间型】國民使節大倉事 大倉男バリ到着

ました。日頃からの感謝の叙を、この歴史にした部団旗、御拠助は一方ならぬものでありした部団旗、御拠助は一方ならぬものでありまりました。既べますれば、その間越音騰隆去りました。既べますれば、その間越音騰隆

私の一生にとって職務院いものでありまし

(新にする所以であります。 五年の歳月は

洋 會

チ 類の対象を なきました 電路に

ĽI _B 岩 電 35 五门 九 * 店

わが政

古田 御町窓です、私はもち

卵せてやれ

彼等を威服せり

前调查用表官

に関する遺儀は、島國臣民の徐禄 人の類型した人の脱欖にも、敬禮 を失してゐるものもあり、故意

更に公衆の相骨する場所に

心がける必要がある。始政以来

でうた文字を大きく掲げ出して る人はかしる場所に於ては、 、とも有効なる指導法の一つで

のことに云ふ鮮滿北友プロ

る大陸の中央に数在するツラ

ないことを断って捉く。

陸騒ぎの地の刺からいつても ねことは、大に來たらものへ

全土を不定 北支を基礎に (願はろい) 者席出 法學 博士 融軍中所

皇國精神に立ち 年を訓練せよ 青年開指導者講習會における が、今後大に考へわばなら四間情に由ること勿論ではあります

ほど、脱帽正装の破嫌に十分

つて花木を探せっと申したとのは圧倒である。早く苗園へに表示の枝振りばかり眺めて居

鮮滿北支ブロツ

クの結成

そこで考へにやならん。なければいかんの唯北支だけをまし 一十一月前日・東京祭道監事に於いて―― 十河 信二氏十河 信二氏 御手洗副社長及び F 州を平定田來る見込みをつけて來 て、北支を基礎にして支那四百餘 ことは、北支政権を成てるについ 一年の日本

先方も算盤に

法をどうするかにある人でするの訊いてゐるのは日本の具體的

そのためには、

味をなさん。 を抑へる理想の下に拵へなければ 特殊されが共催になつて支那全位 すれ弾良くなる、奏國の植民政策

聯の思測的影響の二つから主と方に英國の經濟的勢力と一方に

ずいったくりが少しひと過ぎや

御手洗 今の支那の排

ふ、向ふの人間も狭壁に乗せてでは基礎に捜目がたを過ぎたと

ヘラキリ耳ふと、今

つて支那の民心を傾向させる上

る事情を相互に研究してこれの場合の情報は、この調整を主の裁多の情報は、この調整を主の裁多の情報は、この調整を主が、この調整を主が、この調整を主が、この調整を主

初の試みでありますが、栄比回の説習代は朝鮮として

帽盤 說

わが

政策

彼等を威服

四十四周(既是十三萬間を含む) 帝牛労強に要する十三年度建算は「指導の萬金を順するものである 主要水中のところ大腿省の変定を

合でもある。

に居住し交通の不便はこの二 よるツングース版であつて大 型に分れ天然自然のうちに受 の哲々の配光の血を晒へらせは朝鮮と日本とに別れた奇時観特界の一本に聞一すること 別様人の恋くが「我等」時 更にその根本的精神の確 するとが出來服光の血は今 半島治政三十年、その間に収 々と彼打ちつょあるが

籍の下に今日まで帝々と設局

通に文化に見いるるのは節

てゐたやうに記してゐる、

血の近いものであつて、災寒地の近いものであって、災寒

「内辞版和」や「内辞」

の運動と同一民族結成を希よ

うて関防に政治に経済に

- 結合が最も緊急事である。 ばこの地様での三つのも が、日本の大陸政策から

知能を持つ日本を仰いで、白

ン民族系統のフイン人、マデ

一般信からこれを唱へるの

現を見つ よある時 北安の 程五状助の原則下に確々

の流影製作の土地話を行いて一致年前私は出点で島屋博士

では赤色ソ聯の南即、続古、では赤色ソ聯の南即、続古、

豫算四十萬圓查定通過

枚製五十六枚、この金型二萬六 手約手為字合せて人員四十二名、 形交換所に於ける不護手形は小

押したり、軍跡に送したり、同じ機断に放て、高党の御方の命を に、その他公けの食合乃至公 公衆の存合に、駒揚に、映画な

恐るに最近になって、各方面の

子が現はれた際に放ても、なほ

場内一般にこの数とが使けて 禮を失してゐるものもあり、故意 の酸めないやうた者もあり、また

するほど、脱帆形態の酸焼(i十分) ・ 一つにといいて見るに、

人の駆散した人の跛臂にも、敬虔が駆散し切つてある場合には、一

に自ら前を振れる心臓へを以て、ある人はかよる場所に於ては、常 問続が態度するまでの間、「軍庫 がやうた女字を大きく揺げ田して

字様に「総婚」と前述するも

ツクの内閣的なものではあ

でも、最も重要な主張にあつ交通機関の影響な動から見て交通機関の影響な動から見て

このツラン民族運動の盟主にてゐるとを知るとが出來た、

の確信からこれを唱へるの。自合が最も収急事である ばこの地様での三つのも が、日本の大陸政策から

た真の質力を發揮する時

来つ

人配道下から逃れようとする

ソ民族系統のフイン人、マヂ

つつある、その階をなす鑑批ックは語られらちに結成され を指導者として鮮浦北支ブロこの島國籍種に燃え扱る中島

は既に鮮崩崩蜒合體の堅い連

動抗することの出來る實力と

は世界を支配する白色人種に

に居住し交通の不便ほこの二

を先づ認識することである る血は一つなり』といること 朝鮮人の悉くが「我等は同一 更にその根本的精神の確立

民族なり、お互の身強を流れ

概多の質問を挙げた民族解放

が北支プロックは見渡す

でないことを断って近く、

陸段さの地の初から

てらは

とする極温が各版の中に流れ
とする極温が各版の中に流れ

鮮滿北支ブロッ

クの結成

田

生

各民族の特性を築き上げて來その風土に馴致し長い歴史は ける環境と衣食住の関係から 地に分れ天然自然のうちに受 人類の際見五千年、この長い子……

するとが出來服先の血は今眠

々と彼打ちつ」あるが、私は

今回の事題の裏に立派に實政 け合つた内鮮の精神的特合は 半島治政三十年、その間に溶

た、大利民族といび朝鮮

新 情 勢

会でもある

間に
ッラン民族は
各の土地土

ブロックは同一民族の血の結

は朝鮮と日本とに別れた賞時國精神の一本に聞一すること

一元化することである、飲に

の許々の配先の血を晒へらせ

くる所が多い。これ時有異なれーに生態地區を設定し、之によって、二百二十五百五十七時间れも済

通に文化に見いるものは辞 よつて國族に政治に経際にあつて、既に《鮮浦一知》

相互挟助の原則下に強々と

日鮮複製の民族がその種先をの議場副発の土地語を輝いての議場副発の土地語を輝いて

も中央照細語から東郷して今香々の雅光の日本民族の流れ

てるたやらに記憶してゐる、 の運動と同一民族籍成を希ふ

形と同じく内鮮爾民族は最も ヤール人、トルコ人、ブリヤ 如くして仕舞つた、然しツラ つの民族を全く別個のもの」 は朝鮮御殿を隠てた日本殿島は牛島に停つて居住し、一つ **睦から流れて來た一つの集賦** よるツングース版であつ といふが、これは同一窓続に

ート人等から見れば歌古、諸

血の近いものであつて、従来

お賦目のやらに唱へて來た

「内鮮版和」や「内鮮一種」

の管室具が軽進報国の第一 た、野袋の北支には流路七千 し々鮮猫一如々を具現して來 籍の下に今日まで帝々と發展

はいふまでもない。この三つ

有事 たた

ツ民族となってある、この所 では赤色ソ聯の南即 第古、 では赤色ソ聯の南即 第古、

1つであるとを内却一般が がたられ、この前長族が同一 でなられ、この前民族が同一 でなられ、

命を終行してゐる、これは滿命を終行して高終城、京漢城、忠連

日浦政権は生れたのだ、

部か その先輩を1にする同一のツ

育器風俗の外盤を質合し、鼻 は結成でれたと見てよい、このチリと知つて、長い間の くっ鮮沛北支の交通プロククのチリと知つて、長い間の くっ鮮沛北支の交通プロクク

的からいへば内様崩壊北支は

法學博士

あるものを 北支にどうしても 雅 て了ふことの田本るやうな芸婦のしやうし、所謂採日思想も挑斥し 所謂それがために共産思想も掃落。

路論も決つてをるまいと思

して、東洋路民族か日本と仲良く 十分に出來てをらんが、今度の北

支だけは是非その第一階段を降出 ればなら収が、物には序があって これは異は協用で異先にやらたけ いしといふ残いねへおやいかんっ とめるつもりで、某がいと、彼が

ふことを質問に見せる必要がある なかつと日本の政策と何れが良いかとい ずぶつ

すれ程良くなる、英國の植民政策

ずぶったくりが少しひと過ぎや るやらにしたければならんっ

たかと思ふ

各邦各民族が日本と仲良くすれば にけではなしに、その問題を正し

では其壁に接目がたき過ぎた

ふ、向ふの人間もは

盤に乗せて

こけですることもう引感とと、 先別の使命の駆からいへば、支那 あれば話して下さい

古田 御可慰です、私はもう

罪せてやれ

らんところもあるんだから よ、お互ひにも反省しなければ

御手洗 具種的なおあへ

【本社側】御手洗副社長及び東京

—十一月前日・東京を地質事に於いて・

| Man | Ma

會談座局時

北支を基礎に

古田 仲々念には行きません に知何にすべきかの方法ですなら に知何にすべきかの方法ですなら まればの支が良心を傾向させるにの に知何にすべきかの方法ですなら まればの支が良心を傾向させるにの に知何にすべきかの方法ですなら

御手洗 建川 その通りだツロ

そのためには、

法をどうするかにあるんですり の訊いてゐるのは日本の其酸的

先方も算盤に

将來それが共選になつて支那全位 支に統一的政概を立てるに付ては よが、我感の弱へを述べると、北 てなければならん。そこで仲々面

さんことを見せてやるべきだ。 すかです

つて安那の民心を轉向させる上 聯の思想的影響の二つから主と 方に英國の経濟的勢力と一方に

て出て來てゐると思ふんですが

抗日は私が申上げるまでもなく

御手洗 今の支那の挑目

年の日本

野和京被支店の十二月末現任F

東拓貨付減少

六国の域少である

||百田 || そこで物へにやならん||なければいかん。唯北支だけ 全土を平定

皇國精神に立ち 青年を訓練せよ

青年團指導者購習會における

が、今後大に老へわばなら四周情に由ること勿論ではあります 南總督の告辭

でなく、實地経營に富り、都曾等殊事情といる困難が伴か許り

と目的を望する上に、一般的にいのであります。朝鮮に於てこ

の適用の投資を担するの外は無の適用の投資を必要した。以て共の環境を確立した。以て共産権を確認、以て共産権を対め、政に施設の理解を定め、とに施設の理解を経め、という。 之が提展を対するには、一方音の上に立つて居ない施設に於て 加ィ音年関数音の如き楽務制度

る事情を相互に研究してこれ。
努め剛難器者上の截多の困難 機として先づ指導物神の競母 機として先の指導物神の競母 **養地とに養せられたいのであ** 克服し以て其の指導訓練と普

畜牛增產計畫

豫算四十萬圓查定通過

四十英國(既定十三英國を含む) 年末の下渡 作品におるのである

新敬に、としく管験の 顕微に続、十三年度には全種を護してすれ郷、人名、牧飲二十七枚、全製に体制薬を含れ取削するりです。 大田東上市は、本二、大田東上市は、本二、大田東上市は、東京県市のところ大殿省の変定を、平下が成りす。 中の意図を含む、たに反した万世は、五十宮頭に毎頭するもので、先づ、牧散二十六枚、この金型二茂合あります。 こに反した万世は、五十宮頭に毎頭するもので、先づ、牧散二十六枚、この金型二茂合あります。 こに反した万世は、五十宮頭に毎頭するもので、先づ、大田東十二〇世で前月中上り人間、明治十二宮間を含むし、年本のの、渡、昨年十二種報告生活と後には、

早では「うたけ」といふ、

物のはじまり

り、とうし、古教につうこうの、田の、軍用別恵、兵会、飛行場等の軍事研究機ゲーム、盤上にトーチカ、高射御

ア (元)の監禁が並んで発表され

人の整理ではないでせらか

推奨

ご本元の駅米では、

建の流

棚崎に黙な過せてれこさいくらお

中年婦人にふきはしい難が生れて

万保守的な衣裳が選ぶべきです。 液にとり入れるよりも、たしえ 職業が人は、流行の失情を

これさつ守れば 嚴寒時心大丈夫

可弱い幼兒に品 風を引かせぬ六ケ條

には一部の副酸水文に世帯で含嗽

受取つてるた人が鬼になります、

含嗽させること

期めまずから、安心です。 製剤の力を はひ流すことも用来・製剤の力を についてゐても、含軟ひをすれば

起しやすいものですから、風邪の から恐ろしい脳袋、中耳袋などを ますが、風邪ぐらると馬匹にして てるる家があります。こんなのは 全く不必要ですし、たまに残消に るのに、五枚も上校も清徴を着せ 子供があつがつて行をかいてる 厚着させぬこと 必要です。マスクのガーゼは、な一世にするのもよいでせら

に揺取するやうに兼しますの禁疫

てらた原因があるのですから、次

ば、冷い風に留ると思も風邪を

冬中間分無場をしてもちつとも

作、伊東會は神世から初まつ 局別線の安上りと関東田して作、伊東會は神世から初まつ 勝者を呼ぶてりは、東京が韓本のがおりは、東京が韓本のでは、東京が韓本のでは、東京が韓本のでは、大学の大学の大学の大学の

観戦記 計 台版塚母一

出席する下賤もあり、即る名

激烈な戦闘開始

るべく輝くしないと何にもなりる 寒氣にさらさぬと

「漢明には大切です。また、入浴 といっことは、何と云つても風邪 ません。ひどく窓い思ひをさせの 終った方が脚です、これは顕世が 目標に触れるが組るかして戻って 一変は取り競争し

眾安煙草小賣人愛煙會

職州

月務所

同

常務取締役 華古辰馬專坊取締役 常和雅夫

昭和酒類辨會社

鎭

海

金曜

會

三 干 浦 安朝鮮哨菜銀行

л л

預遣組 粉

合署

舒建著 梅 月 三手浦 "段祖台

田

川郡學校長會

大野酒造物

錢晋州緑棉工場

代表 簡水佐太郎

後やすむ時と、朝起きる前に、床 の上で、動いたタオルで赤くなる の所中、既い輪をつくり、手をつ 気だけ少い数の気柑を辿さます。

けるた件要は和服よりも不穏高だ

以上のものにお金をかけておけ

附屬品の脳でパッグはならべく

取があいはしてありますから、 戦

赤獣に燃えて苦難とたゝかひつゝ

何晩発などにお招きを受けた際

おけば、経済的でその上最も

全機の感じにあふれて帰ります

はそれでも比較的暖いさらですが

初春のお髪 日本髪からヒント

職[業]婦]人[の]洋[装

アメリカ婦人に聞いた選び方秘訣

村女史の

間、勝士の理案屋でんを申し出た

揺取でも何でも職でも知つて

てつ使を

報上病院於 盤のぶつく

林病に掻つてなほりましたが、本族に扱ってなほったらいではなました。」「三ヶ月前に本たと思ったらいからいいが、

治療し、同時に取の分泌域治療し、調薬のやうと被棄して度、調薬のやうと被棄して

等」に、阿敦通多に最も国の けとか、答言とか、胃即ち、トモサンは、胸

佐

島

石見星樂

見星栗店

郡守

李

澤

鍾邓

泗

川

見越してみる。

源を本格的に治療して 猟を一時的に押へるの*** てなく、胃酸過多の病 の回復を早めるのが

山穀物商組合

非均

水水の

全株

長

屋

店

迪 迫

進永農場

代命引換にても即時襲送す。 南接放養元へ柳飪文を乞よっ 然にあり。若し品切れの時は 各地の拠店及びデバート拠品

砂管

防州

事 菜 所

藤沼造場

化配口油

道

立

晋

1州醫

交

會

40億入(井田夏)…三国石の観 石の能入(井田夏)…三国石の観

胃病で一番多い! かも頗る危険!

龜間

鎭

海

工 摥

山晋

下州

正

道

固

長

成 田 徹 干浦漁業組

定合

東洋製絲蜂會社

晋州胡鮮酒友造

女明校長俱樂部

晋

州

稅

務

署

鎭 井

海

邑

長

岛

熊

記

胃の粘膜に炎症ができる酸が込みあげるのは をした炎症ができ

胃の分泌腺が亢進して

月波の分泌が過剰にな

山田都油線造場山田都油線

會 員 一 同 軍事那學校長俱樂部

成

安

郡

廳

雪學校教員

職

員

同

三笔組馬山出張所

晋即

州 出 張

ŔŶĵ

等等的人三元并称为"人名英格兰

朝鮮酒造組合晋州稅務署

▼…これが胃病で一番 多い胃酸過多症です。 るからです。

手當を排ると此の災害 当以出し、食物が胃中に原液

藤 祭 松 鶴

里前以101番里前以101番 戓 陝 職 職 陽 Ш 員 郡 廳

郡 廳 ij 樹 虎 II 穰

員 间 商豐樹 娗 灩 柱

男 季

松次 Ĕß

215.

ジャンケンをして鬼を定め、中

一雷遊び

寄も意心に聞って、樂しい開墾の

居昌朝鲜酒造組合 馬山朝鮮酒造組合

本町

松門

原

世話 古市

加貿易株式會計

ut

清

郡

廳

職宣

貝

同

逎

郡

廳

職

員

同

原

三千浦極造株式會社 班日 大州 郡 廳

那

林

福

夫

咸陽砂防事業所 咸陽土木管區

馬 舊澤釜與馬大內南朝朝朝朝日 1

合所店所合居合所店店店店所

山 工 均

以記公司の成利號乘組員

岩石の下敷き

、新國旗

土を慕ふ四百五月

問島羅子溝に入植

都でに陰酷を聴して陰酷 長端も大成功

設立の認可を申請

公山】六日午前十時かに 坡州署 消防出初式

いい 官民多数念列の下に

『城』開城産業の大宗たる人基 販賣統制强化

城の人蔘

年々減少する鎭海灣の鱈

増産に躍起の慶南

【未同】沃川郷では去る八日午前 沃川郡面長會議

川の煙草 寳上[永町]

式は一月十七日郷知ず以下戦部とは「大田」忠南郡村女子諸智所催了

|者並に江南市民に對する新希への| 進すべき一階段におい

忠南農村女 **于講習所**

警僧閣座堰小說欄

原光線迎川厚前

報

巾

此外數篇 京尤線運川導到

產

社

寄址

Üß

整植村工

馬炭池寬

再就证明

柱

想复秀||歌|| 集||號|| | <u>E則內拟|| 圖蘭</u>|| 主選 | 社潮 新 * 錢+六價定 * 京 松遊道 電話睡川二五番

浦連 \mathbb{N} 忠 =

縆 **體 上村重兵衛** 連川受切 連川消防組 京要 1.11 清 今野長次 水 は組合 ħĠ <u>F</u>3 祐

體計画造場

蠟

414

领

1

揘

泵

李

鳳

がこの穏一味の那般判明、

総州川曜州西弘門里共己孝(ご)格

例州 來應二十四日午後十一時

二人組の自

有財産を横領

養養 李 红 华 李 红 华

為构变量

į.Ji

311

Tis

廳

驪

州

郡

農

會

这一

Ŧ

元

赫

成後三里り

味四名近く送局

裸里の有志ら協議

朝取仁川支

大候。潮流、声値三拍子揃って

例年にない好調|

ら開放され間日は原結松散上来

代表者當局を訪問

この名記事を見逃

祈

共 樂士

新春の劈頭に贈る豪華殿堂

水登浦支局の催

漢城銀行驪州友店

春寫 眞 植館

瓜 利 失

會談

リンク大服ひを含くっ仁川スケート(七川)

川區

崇所

正常光 駹 州 到

便 吉 П

煕

精電光

灦 庠

所

久長運武軍皇

るで、報画後事

平位

区

信

ĸ

那內面是一次 京級直辺山

燕 ____

連門

郵

便

所

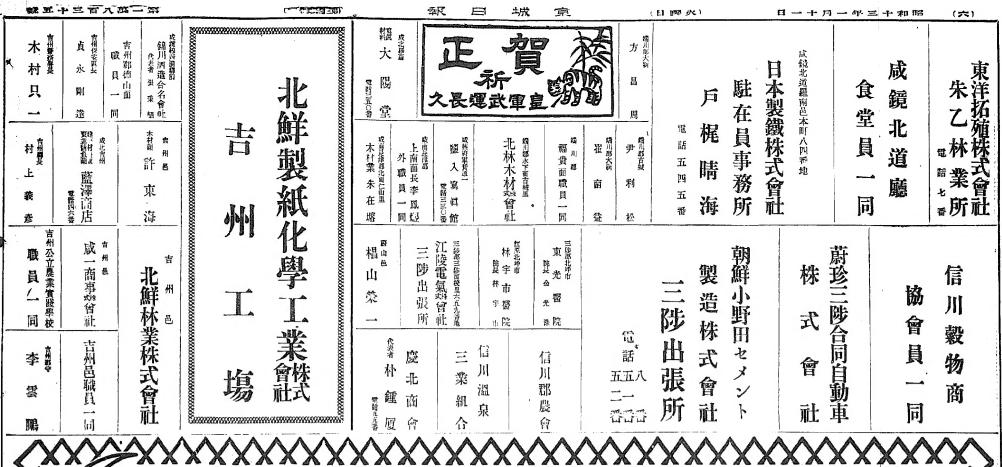
谷

诹

京

河川釀造株式曾社

沖機





北海道 十九八七六五四三二一衞京師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師師 **州北都京** 城 阪 京 應 帝帝帝 一會大醫醫醫醫醫醫 會大醫醫科科科科科科科科科 大科醫大士士一 或 或 或 爽 竪 國 國 或 科學學學

學學學學學學 部部部部部部部省

軍馬 別海海海 所部廠廠廠校部隊

4666 888 8

·曾商 長社會式株鹼石王花·京東 瀬

要を決行の際、大部少佐に前方遊に高度料四千米の上空から我が 二月廿二日再は〇〇神殿を奉じ岡田〇〇神殿を接襲して南昌空川泉街を吐いた。その後敷度の空興戦川知かしい殿果を収めたが らな初降の武者撮りを示して大林ことにありしと天晴れ放文 数機と批弾を空市戦を交へ終う破壊十二般を駆撃して胸のす 地上特権中の施行経過機関、一十数数を破破、更し前機

なる署名カードが果然人根を呼んで百姓的に都採甲であったが、名刺代りと 歌を知かした大朴少佐は、廣島縣田井三廣島一中を李紫夜御兵賦の馬柳宮上して蘇樹を射ちとること丁敷機、江南の空に凝たる武 就機工と機を緊略したが、彼我人間れてのこの瞬間に大林機は逐 人、終う整備を確談して経の心脈を魅からしめ関係と力を協せて一十整備を頭見、窓脈な大将少佐は洗然取機体の脳具中に突

まったのである、「旅途について二旬、此間一隊 京畿道初等

校長會議

たる道内各初等勘校見常指導指針 京畿道路路線でに非常時第二國民 十六日から三日

間京城中學校都家に道內各私立初 を決定すべく來る十六日から三日

招集し初等校長育議を開搬 本府一点軍の武選長へを帰る等路校長、各府都製製四百餘名を 分全員打ち掘つて朝鮮

合かからに發送したが、近く残り全部で北支の〇〇部隊と上海、南支方面の流統に送ることになつ

英語の独定をはるかに突破、三百五十萬となり、このうち六十萬節二十冊

さすが陣中慰問

「大の誘導を関る 人に十日年後一時から長空市順雄」 「大大学との調整を関う」本縣在留支那人に等政府に関係っ 「大大学との調整を関う」本縣在留支那人に等政府に関係っ 「大大学との調整をあり、本縣在留支那人に等政府に関係っ 大大学との調整をあり、本縣在留支那人に等政府に関係っ 大大学の基質をあたると共に発来の不規

スキー 日曜頃は絶好の三防

揚一帶に純白に彩られコンデイシ 部が凍結して押掛けたスキー の後退日の寒さのためスロープ全 シも良好となってスキーヤー 日午前二時ころから猛烈が除雪を以て各道に通牒を發し愈々一月 る二日ちょうと降っただけでそ めてるたが、このはど政務機能名 の根壁をなすとまで云はれた「市 協力し、古来朝鮮人の忠楽を の結果は各方面に注目されてゐる一分個質で酸行を傾ける 日』を理解に改正すべく地値を進

情智打破を見指

(5)

天ぷら、の卷 おい態後は天ぷらにしようか、なに、

戸前の、手一束といつてくつと寝ると頭と尾が出る位の。でやつてくるやうになったが、やにり大森あたりでとれて なくちや駄目だ、東京のアよらがうまいのは大鷺泉京都が

工產都

大方針を確立して

リキル京城府の産業営局

て著しい改善が行いれて来た。 に解離準則の公布、生活の基礎を

なつたかも知れない、「生物」はちょつと歌自選考やし「権の「権用」も野州立とつたが、魔法に高いといふので有名にいるいちゃないか、あそこより二年はと後に始めた明治町

へらんさ、うつかりしてたら飛び出した目ン玉まで揚げられ

こまふぜ、もつと大学的でしかも美味しい天ぷらを食はせ

年ほど前に趣町一丁目に出来た「生純」あそこも我初に願分ないぜ、京城にだつて天ぶらぐらの食はせる所はあるさ、五誠にもたれるやうた不味いものはよしとけだと……さらでも

とあてたものだった。なにしろ目の前で景線よく掛けたても

今の女主人はたしか三代目だと思ふが中々サーゲイスも

|を終くに幸毒で|
| 新手の東内の電子製売は売りた| の複光を聞ってあるが、真葉商業連帯主部地図の 新手の東内の電子製売は決力な は、優の改善を加べ、関策武業の電子では、一、時間 場で証書工業に轉向 | 得るもの数別を書きる上 虚差に店を入れることになった | 聞ると実に、平前産業の主意工

秦化・北支賀島促進版 - 玉海鹟 - 華の問話――世界のマラソン王を「校長自ら「今年上報に慰疑器い義成果に基づきょう。郷土県の革命 - 段勝・清茶を明朗に迎へた及戦改 - 微観・改善の通知を渡し - 安離元楽調金委員会・副立研究して来 - 暦1月な景・平島・統領を打破し | 新・田月を一斉・するでうに」と 打破いて難職いども正月を職し、「けに残りて総と前正月で一切のお末企生他の彩画に「朝鮮の奮闘を」でも調査の結果、安校長の呼びか 生んだ。京城和立義。正高者では年一勝の春だ」と正月を迎へた、墨校 新層の効果如件 **家正高普、戦勝、正月** 局に目覚める半島人を担ちあがら

が、高くて不味いのだからやり切れない、

楽調査委員會で調査研究して来を迎へ財経三原則に必擇し能來

により大脳客を揺へた半島の

島人戦成の刑行技術観覧育は、禁

背負つて起たらと朝鮮グデイダー

方法研究登表 初等學位教育

緊張した戦時登録下に第二の小限 職二十五日から京城飛行場で高商 地内毅 高工松木正光 典專副同

のぼつてある のぼつてある。 研究競表の主なるものは単校標準で開催することとなった 局を織り込んだ教育方針を確立し 維教育に一新紀元を関し、強く時 民を育てあげる重賞を背負っ 第一回初等學校教育方法研究意志 育を十四 十五日の開日南大門小 い言ふので京城府場が織では

全國に率先して

なに第一日の十四日は午前八時世 **發と同時に「墨生義男軍」を組織「郡長」語る** にと京城帝大磐軍部では、事祭戦

の一番に続せ器じて、一人前の軍 々いざりなりの時には何時でもイ

く化學長禁に関する講座を開くこ」と議論である事が判明市ちて子野龍山陸軍病院長を招聴し近 も) は目下組星金南美術に正見

に決定するで、何大學では事先し | 錫つ、を標準主線の一人金大明

とになった、右について上田路県

長崎の支那人

親に立つ全國舒科単生に財役衛生文部貿易から特米國財債生の第一

関する知識を徹底せしめるため

知識を研究してゐたが、こんど

軍事訓練を始め賦防衛生に闘す

解雇を恨んで

員長王克織氏宛に打電し欠いに集 すると共にこの 野陸時政府 可数委

ゴム靴の型を盗む

船長ら横領

朝鮮時報祉

指挥八平圓

場から数火、同社屋を早焼し河入 【蒸山電話】十日午前七時半釜山

取されてゐるのを上日午後上時こ んで捜査を開始したが、早くも同署では内部關係者の仕業と睨

九日午後三時ころ赤平、宇飛平起一永極、『子震道生れ住所不定率正』を練営委員に逃滅された

原因は職工の火の不始求から、智

自宅に歴佚中の共独英福山生れ高

部より錠剤を破壊して何者かに物 肥行を自供したので府内梯北町四

八百興で変り更に船員の給料百三

てあるアルシニューム製で人能器・所不定棋本段。「八同党世後、正己世世上後、所有景町二四、内に財献し、外の大金を持つ不載男会北年打住。京坂三坂近一〇一時間襲殺所省襲、が高郷町二丁目の鎌倉を能行中郡・京坂三坂近一〇一時間襲殺所省襲 五百斤時代十五百間位か倉庫内。引登間ベ上げた所スラーへと前記 漁職から大連三数支度行生組一千トン)は昨年末江泉掛長前三同地 西田国港店建設機略八幅元 (三十 【釜山電話】下開市觀音時町一五 千四百餘圓

牧瀬正常(三)機關及中谷作大郎(三)四百四十二組を積へ執行中、船長 B)が共闘、釜山で六百八十九龍を 学下十七度七分といる今冬の最低

記録破り 水道事故も

八月は七百件

枯らして使つてるくらあだ、あゝ。ヒグの天平・か、 けない緊張前をで上野松坂屋の様子に座台でやつてらた 4のだ、抽にしたところで日本橋瀬町の『花長』など七 仕方がない、ロへ入れてプッリといふ聞ざわりがあつて後に るからだ冷酸量になが、間前医介になつてるそうなエピちゃぜ、いか、白魚、きす、貝様と新鮮なタネがいくらでも手に人 とけるやらでなくちゃ、ねらしくもいけな ことと、名人と云はれるやうた男は人知れぬ苦心をしてゆる

あつていけねえ、だい」も検油なんか使ってたのちや気軽り部版油が本並だ、つばきだのかでだのは軽く指がるが終 規には影響にるやしないゼータネが悪いなんざあワシの 日滑りがよくなつたからつて、さらペチャクチャ啖言るな ならわえ(おし天からの辞よ、とこまで やうちや京焼ッ子ちやない、なに将油がいよつて?油は ら來る帆立具なんで一寸いける。それ位のことがわから るが、そんた馬匹けたものは京城ぢや手に入られて、 うまいの、まづいのつで大きな目が利けるほどの通はこ 京城の東る天子ら屋のおやちの前……いくら天子らを食つて

戦略刷新の根本主旨を傳送する

未來の「花館々を飲み航空朝鮮を一郎、遊信局場并知道の六君が戦風 アマチュア飛行練行 村、特別、東地行士を教育して大人 リオ式二八型、アプロ式五〇四線、

サルムソン式二人二型を練習機と して開戦と飛行の猛闘線をうけて

収めてをり数官もその漁路の目覧 | 野立つまでにはあと四時間の飛翔 四時間に遠してをり、鳥人として 大部分は地上競技で飛翔時間は対 ゆる、九日までに修得した技術は

までにはアマ操縦上の気許を費

正常。石垣原己、朝鮮火災不村二、今たが九日で「まっ北部訓練を終 城大醫學部が開く



ンマレー(成別だ・肺炎だ・消音を が、一次では、大きな、カーない。 一般化活毒・淋ー質がの流速や着、酢モナ 一般化活毒・淋ー質がの流速や着、酢モナ 一般化活毒・淋ー質がの流速や着、酢モナ 一般化活毒・淋ー質がの流速や着、酢モナ 一般化活毒・激性性が、カースの見近来 れて多数性用水石・腫乳液が良い。 れて多数性用水石・腫乳液が良い。 れて多数性用水石・腫乳液が良い。 れて多数性用水石・腫乳液が良い。 れて多数性用水石・腫乳液が良い。 の流域を 褐尾原体の大学 の能量がある。

すーノ五 百川方 も 居 生 は円地人一部を乞ょ 京地市市山 市場の場合は井野味

採用では一片の

不定に本語あり、外位生徒の動場等に明明等に個子達の動場等に明明

おう女才 必能な女子の総語 年 二十順は展歴を大楽社正午画成 三国の分系社 でんエ四八 ・マ年は時間で大楽的こと 一般時間で大楽的こと

道路、下水溝の修繕に

存款を構造された者で内部の事情に増せているを所から恰ら使用人の知。強いていたがにも自建度としているがあるがは、同じの知识をは、これを知りた有機と、ファック連絡である。 一般を対したが、これを知りたが、これを知りた有機と、ファック連絡が、これが、の知りにある。

粒により複金町通、往丁里算、三)めて殴くと事故を吹る寝度ぎご居業に大覧となつてあるが地下の頃。間使用を下めた時に水栓を膝く緊 水満、水道松は事故間出で体験作。道栓は銀水式になつてゐるため夜 三葉四温の日和が貼れ近年にない。| 遊事故は七百八十三件でこれまれ 新記録であった、なほ京城府の水

でも約三千五百四二上つてをりもので、疎見された改書類だけ、て前後三回に亘り傷取してぬた

十萬を突破

めてゐるが寒波が緩み一財降つた 土木工事諸所員は必死の改修に第一 出るなどの赤信號に将内穴を所の ラデオ聽段者

傾濱專門學校 新語 新羅羅斯

(横角が行電機)

野 別 拿 丸

女事務員募業

東京、京都、京城、福岡

新生の記述数型而合切日一月十三 万士の記述数型而合切日一月十三 日子御帝型の方は古田自孫風影告 日子御帝型の方は古田自孫風影告

鐘紡サーヒス人事伝 女事務員採用

新スタンプーズンにおりの観光が

嚱

工募

集

妙香山、阴德 福寒 四次里 、沃川、土城、沙里院、球場・「鉄道局でに來る三月から三張」

記録を作った八日、東城府内の水



至於中込アレ 年二回昇給及貨卵金アリー 年二回昇給及貨卵金アリー 年二回昇給及貨卵金アリー 東脇病院、百貨に、運動場其他幅 東脇病院、百貨門、運動場其他幅 東島病院、百貨門、海野場直

半島ホテル

九理認証と常被を 関係的名称を続つ 上海理経道など

敞鏡南道與南邑

Ø

定個表進島す

永登浦皮率工場

とも時局色を映じ出して彼民が 新事製以來而號や名の古

に「上海」「北支子」といふの のやさしい難妓の深氏名の上に 非常時らしい名がいるですと では、こんた時代にはやつけ キショと云ふのださらだ。 いところをみせてみるが、あ こんど、本等から出た節砂

和信連鎖店 第二回大會

配給側面品見本室で発見物見本市

朝鮮銀行の

設排換停止公告

題校も始まるので今後に毎週

部優秀なる人を運動店の設際式に 職いて事業進行に関する具理方針 十一時から和信百段府六階ホール 和信運館店第二回大倉は十日午前

チルド車輪及附屬品 決勝戦へ 全延禧と鍛道 神宫水上晚技

一日午空四時から決勝戦を行ふこ一時は十日滞原里リンクで舉行、会勝は十日滞原里リンクで舉行、会 当3

株式育肚京城海底社



愈

呼吸器疾患は生命のSOS

二五九八年刊

々 發 竇

發明界の最高拳

湖 尾 旗

告に限り特に翌回にて掲載すの番目に映成

三年一月八日 日年第二四 | 四五 日本 (1) 日本

※ 豆口条の

基督教のことは 京城新生會に 切手格四許繁盛でも、 第1号 を書きた彼る新生3位数々の

小生 厳

松朝鲜麵業所長二就任致候二什何卒御惡情賜度率願上候

胡

俊

ピノ事ト相成候ニ 就テハ 今後其不相變御 厚誼賜度奉願上 畔中ハ種々御懇情賜り難有奉深謝候今般宮城縣細倉鏃山へ **朝鮮鑛業所長更迭ニ付御挨拶** 菱鑛業株式會社 朝鮮窒素肥料株式會社

4.

儀

大

坪

輝

農

けふの天氣

